

# 市野新田ダム現地学習会～堤体の上に祈念の石～

## 柏崎周辺農業水利事業所

11月14日（水）、柏崎周辺農業水利事業所は、建設中の市野新田ダム見学会を開催し、地域の小学生4年生（80名）に、ダムの役割や仕組み及び柏崎周辺農業水利事業についてPRしました。

当事業所では、柏崎刈羽地域の農業振興のため3基のダムを整備しており、当事業及び農水省としても最後となる市野新田ダムの築造に当たり、農業水利事業やダムの役割、また、環境に配慮しながら事業推進していること等について、地域の小学校に出前授業を行ってきています。この度は、柏崎市立柏崎市小学校4年生を対象とした出前授業として、現場における学習会を開催しました。

当日は、今年2月に完成した市野新田ダム管理棟内で、事業やダムの必要性の説明をしたのち、生活用水や農業用水の確保にダムの果たしている役割や、茶碗1杯のごはんを作るのに必要な水量、ダムの造り方や構造、付近に棲息する動植物や昆虫等の説明を行いました。小学生からは、「秋の美しい景色の中に大きなダムがあり驚いた。ダムの水で稲や野菜が大きく育てて欲しい。」「ダムの大きさや役割など、たくさんのが分かった。おいしいお米になるよう、ダムの水が役立ってほしい」などの感想がありました。

また、これまでダム見学者やイベント参加者から石（リップラップ材）に名前やメッセージを書いてもらっており、今回の見学会では、この日の参加小学生が描いた石も合わせて、約400個を堤体の上に貼り付ける作業を行いました。将来、市野新田ダムに再訪した際の“一人一人の目印”になることを期待しています。



当事業所は平成31年度に事業完了を控えています。今後とも、事業推進や農業農村の振興につながる取組を実施しつつ、地域の皆様や関係機関との交流を深める活動を推進していきます。